

『集団の一員としてよりよい人間関係を築く』

藤枝市立青島北中学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	・1年生を迎える会 (合唱、学校紹介：歓迎)	・学級開き ・「出会い」を大切にし、支え合う 集団づくりを目指す。 ・人間関係作りプログラム	職員会議 (ピア・サポートの 共通理解)
5月	・生徒集会(団決め)	・自分の良さに気づき、紹介し合う ことでお互いの良さを知る。 ・上級生から下級生が望ましい姿、 態度を身に付ける。	職員会議 (人間関係づくり プログラムの紹介)
6月	・青北小でのあいさつ運動 ・「Good job!自分」紹介 ・ポラリスタイム ・縦割り交流会(合唱)	あい さ つ 運 動	職員会議 (ピア・サポートの 紹介)
7月	・縦割りタイム(合唱等)		
8月	←夏休みしかできない充 実した体験をしよう	人間関係作りプログラム	
9月	・コーラスフェスティバル ・「Good job!〇〇さん」紹介 ・青北小でのあいさつ運動	・コーラフェに向けての縦割り交流練 習 ・行事の振り返り ・学校生活の中で友達・先輩の良さ に気づき、伝える。	職員会議 (SST やエンカウ ンターの紹介)
10月	・スポーツフェスティバル →スポフェに向けて団練習	・スポフェに向けての練習 (団ごと縦割り交流) ・行事の振り返り	
11月	・学校保健委員会	・学校保健委員会	伝達講習
12月	人権週間(人権作文等の紹介)		職員会議 (ピア・サポートの 紹介)
1月	新入生説明会	人間関係作りプログラム	
2月			
3月	・ファイナルコンサート (北小6年生参加) ・3年生を送る会 ・「Good job!先輩」紹介	・3年生への感謝の気持ちを伝え る。 ・温かな雰囲気です1年を振り返る。 (学級、学年、学校)	職員会議 (SST やエンカウ ンターの紹介)

1 本校のピア・サポート

青島北中学校は本年度から学校教育目標を「自ら求め成し遂げる」とした。「自ら求め成し遂げる」は自求成遂（じきゅうせいすい）という合い言葉で、開校当時から38年目を迎える現在まで、在校生のみならず教職員や保護者、地域の方々にも浸透している大切な言葉である。

そして、「自ら求め成し遂げる」生徒の育成のために本年度から掲げられたのが、「支え合う学校、高め合う学校」という重点目標である。授業や特別活動に限らず、あらゆる教育活動の中で、「支え合い、高め合う」場면을意図的に設定していき、生徒の成長を促したい。

そのような活動を支えるのがピア・サポート活動である。本校で支え合う風土、高め合う風土を醸成し、誰もが安心して自分の力を伸ばせる学校環境を構築するために多様な場面でピア・サポート活動が展開された。

2 特徴的な活動

○無言清掃

本校では無言清掃を導入してから7年目となる。清掃方法が分からなかったり、清掃時のルールが分からなかったりする1年生が、上級生の黙々と清掃をしている様子を見ることで5月くらいにはすべての場所で無言清掃の徹底ができています。先輩の姿を見て学ぶ、下級生が上級生の姿に刺激を受け、真剣に無言清掃に取り組んでいる姿を見ることができました。無言清掃は青島北中学校の伝統になってきている。



無言清掃の様子

○スポーツフェスティバルに向けて団別活動

5月の団決め集会にはじまり、種目説明会、決起集会、団別練習そしてスポーツフェスティバル本番。本校の縦割り集団の活動はスポーツフェスティバルの中で最も盛んに行われる。団長を中心に生徒同士が自主的にサポートし合う姿が見られた。特に、3年生は下級生に積極的に声をかけ、リーダーシップを発揮した。団別練習時の声かけ練習指示、練習のある日の朝には、下級生の学級に行き、連絡をする姿なども見られた。下級生はそういった3年生の姿に応えようと一生懸命練習に取り組んだ。学年を超えた関わり合いがあり、温かい声かけもあった。また、スポーツフェスティバル後には、同じ団の下級生が上級生に、上級生が下級生にスポーツフェスティバルを通して見つけた良いところをメッセージカードで伝え合い、お互いのよさを認め合うことができた。

○あいさつ運動

生徒会総務と生活専門委員会を中心に、毎朝、生徒や地域の方にあいさつをしている。また、定期的に青島北小との合同あいさつ運動も実施している。お昼の放送を使って、生活専門委員長が1週間のあいさつ運動中の様子を伝えることで、全校生徒にあいさつ運動への意識付けやあいさつすることの価値付けを行う活動をした。



小中合同の朝の挨拶運動

3 本年度の成果と来年度に向けて

次年度は、今年度と同様に多様な教育活動の中で「支え合い、高め合い」の場면을設定し意図的にピア・サポート活動が行われるようにすると同時に、生徒の人間関係づくりの力を育てる活動を行い、誰もが安心して生活できる学校の基盤としたい。

